



1月24日(土)午後7時から沖縄別院本堂にて、2025(令和7)年度「第2回実践運動推進研修会」を開催しました。講師に小川眞理子師(岐阜教区華陽組等光寺住職、本願寺派布教使)をお招きし、講題を「真宗教団におけるジェンダー平等とは」としてご講義いただきました。

沖縄特区では実践目標を、(1)貧困の克服に向けて、(2)寺院の活性化をめざして、(3)「非戦平和」を

## 第2回実践運動推進研修会 小川眞理子師、平等の救いと差別を語る



《2026春・第130号》  
 浄土真宗本願寺派  
 発行 沖縄県宗務事務所  
 発行人 久留島智祐  
 〒900-0005  
 沖縄県那覇市天久2-18-2  
 電話(098)860-7009  
 ファックス(098)860-7469  
 mail ameku2182@yahoo.co.jp

はじめとする社会的課題の取り組みと定めており、今回の研修会は(3)「非戦平和」をはじめとする社会的課題の取り組みの一環として開催しました。

まず講師から、「平等による救いが説かれたのは、差別の現実があったからではないか」と問題提起がありました。そこから「ジェンダーとはなにか」に始まり、講師ご自身が住職になって24年のなかで経験された女性僧侶(住職)に対する根強い先入観(女性≠坊守)などを交えてお話しいただきました。また、宗門内外における諸問題(人種差別、障害者差別)も取りあげて、「無関心・傍観者」が差別を生み出していることや、誰もが差別する側・される側になる可能性があること、社会の諸問題に関心をもつことの重要性を提言して締め括られました。

質疑応答では、講師が積極的に参



小川講師によるはたらきかけで活発な質疑応答がおこなわれた研修会の様子

加者にお声掛けをされ、多くの質問・感想が上がり、皆それぞれに深く考える時間となりました。

## ハイサイ!! 沖縄へようこそ

1月26日(月) 備後教区平和学習における参拝団の皆さん、北豊教区小倉組安楽寺の皆さん、1月27日(火) 安芸教区組長会・教区会合同研修旅行の皆さん、1月28日(水) 長野教区参拝団(戦後80年現地研修会)の皆さん、2月4日(水) 鹿児島別院職員研修1班の皆さん、2月9日(月) 北海道教区札幌組重点プロジェクト平和学習参拝団の皆さん、2月18日(水) 鹿児島別院職員研修2班の皆さん、大阪教区組長連合会の皆さん、2月24日(火) 鹿児島別院職員研修3班の皆さん、3月9日(月) 鹿児島別院職員研修4班の皆さんが沖縄別院に参拝されました。

沖縄別院では、今後も皆さんのご参拝をお待ちしております。



大阪教区組長連合会の皆さん

備後教区平和学習における参拝団の皆さん

鹿児島別院職員研修2班の皆さん



鹿児島別院職員研修3班の皆さん



長野教区参拝団(戦後80年現地研修会)の皆さん



安芸教区組長会・教区会合同研修旅行の皆さん



鹿児島別院職員研修4班の皆さん



北海道教区札幌組重点プロジェクト平和学習参拝団の皆さん



北豊教区小倉組安楽寺の皆さん



鹿児島別院職員研修1班の皆さん

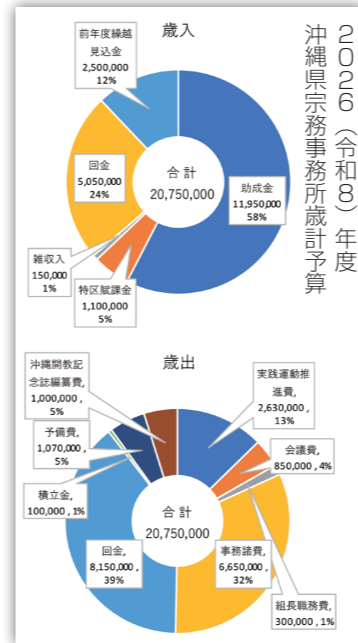
# 第3回沖縄県宗務推進会議

3月24日(火)午後6時55分から沖縄別院本堂において「2025(令和7)年度第3回沖縄県宗務推進会議」を開催しました。

初めに事務局から沖縄県宗務推進会議・帰依薫籠委員の退任について報告しました。退任に伴い監査委員1名の欠員が生じたため教区規程第11条の3を準用し、沖縄県宗務推進会議委員の僧侶から帰依薫籠委員を選出し、沖縄県宗務推進会議の同意を得ました。

次に、久留島智祐所長が令和8年度沖縄県宗務特別区執務方針について、

来年度の「宗務の基本方針」に基づき効果的かつ実効性のあるものとなるよう各事



- (1)活動拠点設置にかかる対応について
- (2)非法人寺院設立承認申請進達について
- (3)令和8年度寺院巡回実施について
- (4)沖縄別院の業務報告について

# 納骨堂総追悼法要



別院での法要



多くのご家族がにぎやかに参られた別院納骨堂

沖縄別院では、十六日祭(旧暦の1月16日)を機縁として仏さまの教えに耳を傾けていただき、毎年各所で「納骨堂総追悼法要」をお勤めしています。今年

3月4日(水)が十六日祭にあたり、沖縄別院では午前10時と午後2時の2回、天久礼拝所と久米島布教所では正午にお勤めをいたしました。

# 法谷寺報恩講法要に参拝

特区における実践運動の寺院活性化部門において、「各寺院・布教所における報恩講法要の修行」を掲げています。その取り組みの1環として、今回、法谷寺様(角田住職)にご協力いただき、部門員が参拝させていただきました。

法谷寺報恩講法要は毎年2月の第2土曜日に執り行われており、今年は2月14日(土)午後6時30分からお勤まりになりました。多くの方が参拝され、和やかな雰囲気の中で厳修されました。本年は法谷寺設立10年の節目を迎えるなかで、非常にありがたいご縁となりました。

ご法話は隣接する公民館



で行われ、兵庫教区の幡多哲也師による、ありがたい中にも笑いあふれるお話を聴聞しました。その後、会場を移し、一同でお齋をいただき、散会となりました。法谷寺では年々、報恩講ご参拝の人数が増えています。その背景には、継続した修行や、公民館を法話会場にするなどの工夫が見てとれました。今後とも報恩講法要の奨励、並びに寺院活性化につながる施策を図れるよう実践運動の活動を進めてまいります。

# 異動のご挨拶



竹林尚頭

このたび、4月1日付にて出向契約を終え、浄土真宗本願寺派宗務所社会部にて勤務することとなりました。

1年間という短い期間ではありましたが、沖縄特区の皆さまの温

各所とも法要には多くの方が参拝され、仏さまの前で手を合わせられました。そして納骨堂にお参りし、ご家族で手を合わせたり、食事とってゆっくり過ごされていきました。これからも、親族一同が集まってご仏前に手を合わせる尊いご縁が続いてほしいものです。

かいお育てに支えられ、職務を全うさせていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。在任中は「太平洋戦争全戦没者・沖縄戦終戦80年追悼法要」のご勝縁、「児童念仏奉仕団」など、貴重なご法要や職務に携わることができましたこと、ひとえに皆さまのお力添えの賜物と存じます。また沖縄という地で、様々な経験させていただきました。皆さまとお会いできましたことは、私の人生において大きな礎となっております。新たな任地において、沖縄の地で子育てをいただいた経験を生かし、ご法義の繁盛に微力を尽くす所存です。本願寺にお越しの際は、ぜひともお気軽にお声がけいただければと存じます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。